

シェアでんきならこんなにおトク!

節約効果は
20年間で

約 **110** 万円!

10年後からは余剰売電が可能に。
トータルでの想定おトク金額は、
20年間で約110万円の試算です。*

太陽光システムを
設置していない家庭

20年間の
昼間の電気料金

10年間の
余剰売電収入

シェアでんきを
採用した家庭

おトク

再エネ賦課金は 年々上昇してしています

月々の電気の使用量（＝電力会社からの購入量）に応じて、追加で課金される再エネ賦課金（再生可能エネルギー発電促進賦課金）。経済産業省の予測によると、2030年には月間1,200円、年間で14,400円に増加する可能性を示しています。

太陽光発電による電気を消費することで、電力会社から購入する電気の量を減らすことができるため、結果的に再エネ賦課金の金額も減らすことができます。



* 試算の前提条件は、以下のとおりです。●太陽光発電システムの構成...4kW ●自家消費量:余剰売電量=3:7 ●電気使用量...毎月400kWh使用、うち昼間(9-17時)に30%使用 ●電気料金単価...25円/kWh ●10年後以降の売電単価を8円/kWh ●昼間の使用量は、発電量の30%でカバーできるものと仮定

